

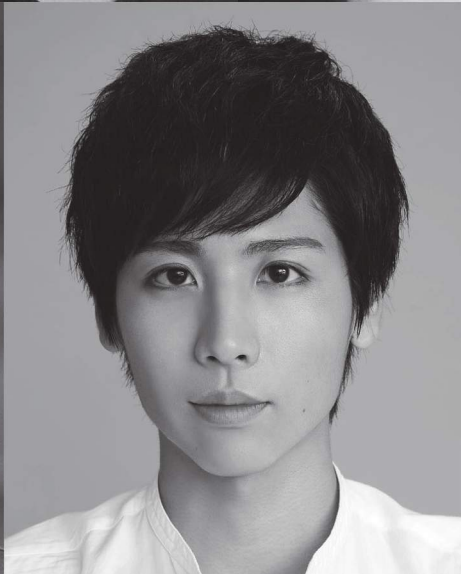
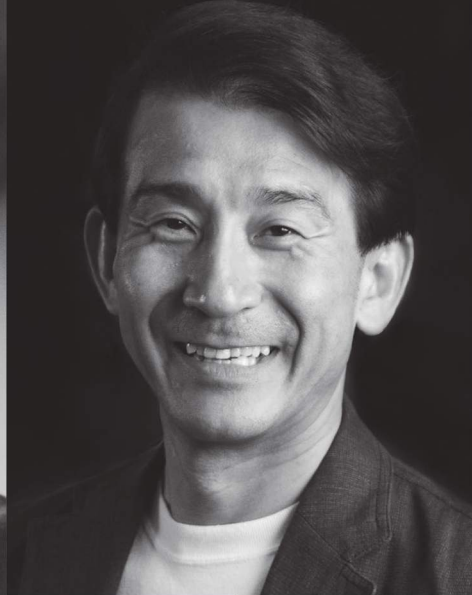
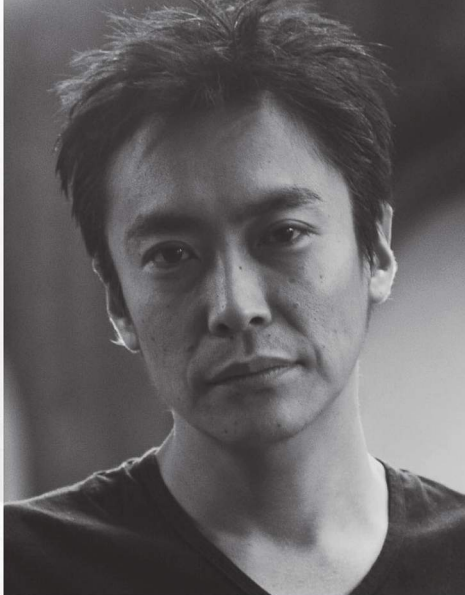


特集 川村毅作・演出『4』
京舞と狂言
ホワイエ
6～8月公演スケジュール

— 2P-5P
— 6P-7P
— 8P-9P
— 10P-11P

春秋座マイ・ファースト・オペラ vol.1
W.A.モーツァルト作曲
『フィガロの結婚』全4幕

— T・2P-T・5P



川村毅作・演出『4』

【お知らせ】新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度の公演は中止することを決定しました。楽しみにしてくださった皆様には心よりお詫び申し上げます。

来年2021年8月に延期上演の予定です。

2020年6月13日(土)、14日(日) 15:00

会場：春秋座 特設客席

作・演出：川村毅

出演：今井朋彦、加藤虎ノ介、川口覚、池岡亮介、小林隆

音楽：杉浦英治 (SUGIURUMN) 照明：原田保

音響：藤平美保子 衣裳：伊藤かよみ

演出助手：小松主税 舞台監督：小笠原幹夫／劇工房 双真

製作：平井佳子／ティーファクトリー

制作：ティーファクトリー、京都芸術大学 舞台芸術研究センター

●公演情報の詳細はスケジュール一覧(P.10)をご覧ください。

モノログから始まり徐々に思いもよらぬ展開へと観客を導く、川村毅による衝撃作。2012年シアタートラムで白井晃氏演出により初演。作者の川村毅は本戯曲において2013年に鶴屋南北戯曲賞、文化庁芸術選奨文部科学大臣賞を受賞。その後、アメリカ、デンマーク、韓国においても上演されたこの名作が2020年、満を持して川村毅自身の初演出により京都と東京にて上演されます。

宣伝美術：町口覚／マッチアンドカンパニーセンター

協力：アルファエージェンシー、ケイファクトリー、文学座、レディバード、ワタナベエンターテインメント(50音順) 小宮山智津子(劇作家の作業場 2011)

企画・主催：京都芸術大学 舞台芸術研究センター

「人間が生きていること＝演じること」「人間存在の本質」を描きたいというところが強くあるんです。

—— 川村毅

「語る」と「騙る」。他人に成りすますことは自分を語るよりよっぽど自由になれると体験したんですね。

—— 今井朋彦

——いよいよ川村さんの演出による京都での上演となりますね。

川村 初演の後、いずれ私の演出で、さらに京都発信でできないかと提案をいただいていたので、ついに今回それが実現する感じです。

——舞台芸術研究センターでは今回の上演をめざして2年にわたり劇場実験による研究会を行ってきました(※)。

川村 初演度は「モノログ」をテーマに様々な戯曲の中からモノログ(独白)を抽出、次年度は映像を使った劇場実験を行ったのですが、この2回の劇場実験は非常に有効でしたね。この研究会成果からどのような演出になるのかはまだ言えませんが、初演とは違う、僕なりの仕掛けも入れる予定です。

そして今回は舞台の上に客席を作る舞台上舞台の方式でやるのですが、これが結構、良い空間なのです。NYのちょっとしたロフトのような、スタジオのような雰囲気ですとでも楽しみですね。

——この作品はモノログで構成され、「裁判員」「刑務官」「死刑囚」「法務大臣」という立場を異にする4人の男が役を入れ替えながら演じるという内容で、役者さんにとってもとても大変な作業になりそうですね。

川村 それぞれの立場でモノログ

を発し、それにより4人の議論や対話で構成する芝居なので、セリフの力を最大限に信用し、言葉の力を出す芝居です。ですから今回、今井さんをはじめセリフの言葉を強靱に発せる役者さんを重点にキャストिंगができたので、これはやったなという気がしています。

今井さんとは同じく京都芸術大学で教えていたのに、ほとんど接点がありませんでしたよね。ですから今回、初めてご一緒することになるわけですが、これは本当に縁ですね。早すぎてもダメだし遅すぎてもダメ。今井さんとご一緒するのはグットタイミングだなと思います。

——今井さんはこの戯曲を初めて読まれた時どんな印象でしたか。

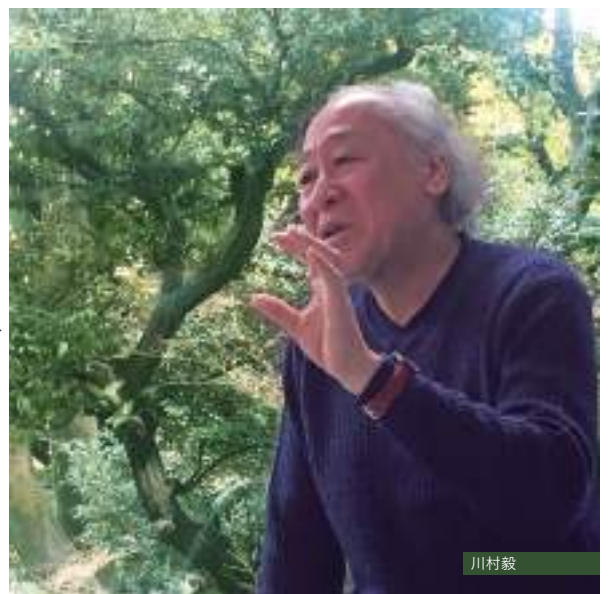
今井 川村さんの戯曲を全て読んでいたわけではないのですが、とはいえ初めて読んだ時、正直びっくりしました。「えっ！何があったんだろう」というぐらいい構成も文体も

変わっていて。

川村 そうなんです。2012年に僕の芝居に出演したことのある役者さんたちにリーディングしてもらったのですが、みんなに「川村さん書いたの？」って言われて。ですから僕の劇作家人生のターニングポイントとなった作品であり、意識的にも無意識的にもここから変わったと思います。

今井 川村さんの変わるきっかけとなった作品を、このタイミングで上演し、僕が新しくご一緒するという事に何かリンクがあるのかなと感じます。

戯曲を読んで、やはり最初は死刑を



めぐる男たちの構造に意識がいったのですが、もう一度読み返したら僕の演劇の原風景的なものとリンクしちゃったんです。「演じる」とか「語る」という本質的なことですね。

僕は高校まで演劇とは縁がなく、大学で演劇研究会に入ったのですが、その新人向けのWSが今回の企画とちょっと通じることがあって。

舞台は難破した宇宙船で、誰か一人が宇宙船から降りないと地球に帰れない。誰が降りるかを話し合いで決めるというエチュードをやらされたんです。役柄は自分で考えてセリフもアドリブなのですが、それまで演劇に触れたことがなかったので難しいといえば難しい。でも面白かったんです。

つまり「語る」と「騙る」。他人に成りすますことは自分を語るよりよっぽど自由になれると体験したんですね。この戯曲はその時の体験とリンクしているなと思って。だから今回、いつもとは違う自由を獲得できたらいいなと思っています。

川村 今、ものすごく本質的なことを語っていただいて。そうなんです。この戯曲はモノローグや死刑制度を全面的に出していますが、それだけに注目されすぎなところもあったん

じゃないかと思っています。初演では白井晃さんにセンセーショナルな演出をしていただいて満足しているのですが、お客さんの感想を聞くとき多くの方はこの謎をまだ解明していないのではないかと考えてね。「いや、この戯曲にはまだ謎は多いぞ」と(笑)。

『4』は世田谷パブリックシアターによる劇作家のためのWS「劇作家の作業場」から生まれた戯曲で、「モノローグの可能性」をテーマに2010年から書き始めたのですが、これを書きだすと面白くなってしまっ。とりあえず4つ書いてみたのですが、その時、「モノローグの可能性」と同時に「モノローグの懐疑」のようなものを考えたんです。人間の独白は本当に真実なのだろうか。モノローグが真実とは限らない。つまり人は体験を語っていくうちに起承転結を付けて聴きやすいストーリーにしてしまうわけですよね。だから人間の独白をそう簡単に信じてはいけないよ、というところもあって。

今回は死刑制度もテーマにあります。今井さんのおっしゃられたように「人間が生きていること＝演じること」「人間存在の本質」を描きた

いというところが強くあるんです。

——タイトルの『4』は、いろいろな読み方ができます。初演ではタイトルに「フォー」と入れましたが、今回は入れていませんね。

川村 初演では興行タイトルとして付けられていたけど、劇作

家としては「よん」でもいい。実は「シ」でもよくて、「シ」からデット(死)を想像するのもいいんです。以前、韓国で若い演出家が演出し上演してくれたのですが、それはセウォル号沈没事故を忘れないために開催された演劇祭で上演されたんです。ところが韓国でも「シ」はデットという意味になるそうで、ご遺族への配慮から副題に「フォー」と入れさせてほしいと言われ、その時も入れました。

ですが今回はあえて「フォー」というサブタイトルは入れていません。各々のお客さんの読み方でいいと思っています。

——『4』を書かかれている途中で東日本大震災が起きましたね。やはり何か影響を受けていると感じられますか。

川村 何か影響しているかもしれませんがね。「生と死の時」というのが随分、出てきますし。でも今、あの時の薄ぼんやりした不安感、新型コロナウイルスに対する不安な感じって、原発事故の時と似ている気がしますね。地球と人類の変化による妙な不安感は9年経っても変わらないんだなと思います。

とはいえ稽古場では演出家の立場でいようと思っているので、書いている時の生理みたいなものは現場に持っていかないし、とにかく他人が書いたように演出しようということを中心掛けています。

それに書いてから9年という歳月が経つと、さらに他人のものになるんですね。久々に読んだら「へー。こういうことですか」みたいな新鮮な気分(笑)。他人が書いたものを演出するような気分ですよ。自分が書いたくせに、どういう意味だろうなと考えたり(笑)。作・演出というのは諸刃の剣で作家愛が強すぎると俯瞰した演出ができないんですよ。だからそういう弊害が全くない、



今井朋彦

いい状況だと思います。久しぶりに読み返して言葉のピュアな部分を前面に出した作品だと思っています。ですから丁寧に作っていきたくと思っています。

(※) 舞台芸術研究センターでは本作品を上演するにあたり、『4』上演の可能性を巡る劇場実験を開催。2018年度は〈モノログ〉をテーマに、2019年度は〈映像を用いた演出〉をテーマに、本作が持つモノログによる可能性と豊かさを検証しました。

公演前に、こちらもお読みください!



戯曲『4』 川村毅著
(2012年 論創社刊)

『4』創作・上演履歴

2010年度

世田谷パブリックシアター学芸企画〈劇作家の作業場〉の「モノログの可能性を探る」というワークショップから川村毅が創作着手。その後改作を重ねる

2011年3月

世田谷パブリックシアター主催

〈モノログの可能性を探る〉

川村毅新作戯曲『4』リーディング

〈劇作家の作業場 Vo.1〉

出演：金尾哲夫、伊達暁、原金太郎、真那胡敬二

2011年11月

世田谷パブリックシアター主催・

川村毅新作戯曲『4』リーディング

〈劇作家の作業場 Vo.2〉

演出：川村毅

出演：吉田鋼太郎、扇田拓也、中村崇、手塚とおる

2012年11月

世田谷パブリックシアター主催公演

演出：白井晃

出演：高橋一生、田山涼成、須賀貴匡、野間口徹、池田鉄洋

於：シアタートラム

2013年

川村毅『4』により、第63回文化庁芸術選奨文部科学大臣賞〔演劇〕受賞、第16回鶴屋南北戯曲賞（光文文化財団）受賞

2015年3月

アメリカ・ニューヨーク

ニューヨーク市立大学大学院主催

英訳版リーディング

演出：ジョン・ジェスラン

2017年5月

デンマーク・コペンハーゲン

デンマーク語訳版リーディング

演出：川村毅

2017年7月

韓国・ソウル公演

恵化洞1番地

6期同人企画招請公演

セウォル号 2017

翻訳：イ・ホンイ

演出：マ・ドゥヨン（ディレクターズ42）

2018年5月

ソウル演劇祭・韓国語版公演 再演

2018年10月

京都造形芸術大学舞台芸術研究センター

主催 トーク&リーディング

「モノログの可能性について」（『4』を含む古今東西の戯曲のなかのモノログ・シーンをトーク&リーディングで紹介）

トーク&演出：川村毅

出演：木全晶子、ごまのはえ、土田英生、西村貴治、藤原大介、三田村啓示

2019年6月

京都造形芸術大学〈舞台芸術作品の創造・受容のための領域横断的・実践的研究拠点〉主催 2019年度共同研究プロジェクト テーマ研究『4』上演の可能性を巡る劇場実験

解説・演出：川村毅

出演：金子仁司、木之瀬雅貴、坂川慶成、御厨亮

2020年5-6月

川村毅自身の初演出により、京都（春秋座）・東京（シアタートラム）にて上演

東京公演情報

(2021年8月都内別会場にて延期上演予定)

2020年5月29日(金)ー6月7日(日)
シアタートラム

主催：ティーフクトリー

提携：公益財団法人せたがや文化財団

世田谷パブリックシアター

後援：世田谷区

<http://www.tfactory.jp/>

川村 毅

(劇作家・演出家)

東京生まれ。1985年度岸田國士戯曲賞を『新宿八犬伝 第一巻 一犬の誕生』にて受賞。

2003年、世田谷パブリックシアターと京都芸術大学舞台芸術研究センターの共同製作により上演された『AOI / KOMACHI』は同年論創社より戯曲発刊、仏訳・独訳・英訳・伊訳された。

2013年ピエル・パオロ・パゾリーニ戯曲集全6作品日本初演連作を完了。内『豚小屋』『騙り。』『カルデロン』は春秋座でも上演。

近年の作品に、『エフェメラル・エレメンツ』(2017年)、『レディ・オルガの人生』(2018年)。劇作40周年・選歴記念として2019年10月24日-11月4日吉祥寺シアターにて新作・演出『ノート』、2020年1月29日-2月2日東京・あうるすぽっとにて作・演出・主演『クリシェ』、そして2020年5-6月に川村毅作・初演出『4』を上演する。京都芸術大学舞台芸術研究センター主任研究員。

今井朋彦

(俳優)

東京生まれ。文学座所属。俳優として、劇団内外の舞台やテレビ、映画、ラジオドラマ、ナレーションなど幅広く活躍。1996年度第31回紀伊國屋演劇賞個人賞(『水面鏡』)、2001年度第9回読売演劇大賞 優秀男優賞(『こわれがめ』『コペンハーゲン』『職さがし』)、2011年度第62回芸術選奨文部科学大臣新人賞(『破産した男』他の演技)受賞。近年の出演作品に、『Le Père 父』『Taking Sides ~それぞれの旋律~』がある。演出家としても活躍しており、2019年12月に松原俊太郎作『メモリアル』を、2020年2月には遠藤周作作『メナム河の日本人』を演出。京都芸術大学では、2007・2008・2011年に舞台表現の集中講義にて教鞭をとった。

京舞と狂言 vol.2



写真：桂秀也

昨年度から3ヵ年企画でスタートした、京舞井上流・井上安寿子さんと大蔵流狂言方・茂山忠三郎さんによる「京舞と狂言」。今年も7月19日（日）に春秋座にて開催されます。今年「メルヘン」をテーマに、それぞれのレパートリー演目と、京舞と狂言による初の合作『たぬき』を

上演します。上演にむけた打合せの後、まだ肌寒い3月上旬にお二人に話を伺いました。

——まず茂山忠三郎さんからお伺いします。京舞と狂言による新作『たぬき』への意気込みはいかがですか。

忠 前はそれぞれ別のものをやっ

たのですが、今回は一緒に新作を作ることになりました。お互いどこまで折り合えるか。美しさを探求する京舞と喜劇を追及してきた狂言をどのように折衷するかというのが一番楽しみなところですよ。

狂言の喜劇性を忘れず、どこまで美しさを出しているのか。逆もしかりですが、そこが楽しみです。

——狂言の『狸腹鼓』はお家にとっても大事な演目ですね。京舞とコラボすることについて、どのように考えますか。

忠 ワクワク感しかないですね。大正や昭和だと話は少し違って来たと思いますが、令和となった今は新しいことをどんどん取り入れていきたいという考えもあるので楽しみです。

——もう一つ「メルヘン」をテーマとして『神鳴』を選ばれていますね。

忠 それはもう雷様が天から落ちてきて腰を打って、お医者さんに治してもらおうという、これ以上のメルヘンはないだろうって思っています。

狂言には他にもキノコの精や蚊の精が出てくるメルヘンチックな演目がありますが、究極のメルヘンは人間が神に治してもらうのではなく、神様が人間に治療をしろというものではないかと。そこが一番、狂言っぽいと思って選曲しました。——続いて井上安寿子さん、意気込みはいかがですか。

安 内容はまだ固まっていないのですが、自分が中心になって作る初めての作品です。狂言師の方と一緒に舞台上立つのも初めてのことで、コラボということで、どうことができるのかなと探りながらやっているところですよ。

狸というのは狐よりも化けるのが一段階、上手な動物と聞いています

ので、どのように上手に化けられるのかも楽しみです。

——京舞には狸を連想させる曲はあるのですか。

安 京舞井上流には無いのですが、地唄舞の「作物（さくもの）」の中にあります。地唄舞には「艶物（つやもの＝男女の情愛を扱った作品）」「作物（軽妙で洒脱、滑稽な作品）」「本行物（ほんぎょうもの＝能から来た作品）」がありまして、作物では動物をテーマにしていることが多く、地唄舞の『たぬき』を観た時に狂言と通じるものがあるので、こういうものだったら一緒にできないかなと思ったのがコラボをしようと思ったきっかけです。それと昨年の舞台をご覧になったお客様のアンケートに「ぜひ京舞と狂言と一緒にしてください」というお声が多く、

お尻を叩かれた感じですよ。

——もう一つは『浦島』ですね。

安 『浦島』を舞ってみたいというのがあったんです。扇をポイッと投げ取りに行くような曲で、母が井上三千子時代に後援会で舞った時、扇を落としてしまったというエピソードがあるほど扇遣いが難しいんです。でも、私は硬い曲ばかりやってきたので、もっと身体を動かすものに挑戦したいと思って選びました。浦島太郎が龍宮城から帰って来て思い出している話です。玉手箱も出てきますよ。

——お馴染みの物語を京舞ではどのように描くの楽しみですね。

お二人の果敢なチャレンジの成果を、期待しています。

井上安寿子

京舞井上流五世家元井上八千代の長女として京都に生まれる。平成3年、四世及び五世井上八千代に師事。平成4年「四世井上八千代米寿の会」にて初舞台（上方唄「七福神」）。平成18年井上流名取となる。平成23年京都造形芸術大学（現・京都芸術大学）卒業。平成25年井上安寿子主催の京舞公演「葉々（ようよう）の会」を発足。第50回なにわ芸術祭 新進舞踊家競演会において新人賞受賞。平成27年より学校法人八坂女紅場学園の舞踊科教師に就任。平成27年度京都市芸術新人賞、平成28年伝統文化ポーラ賞奨励賞、平成30年東京新聞第1回日本舞踊新鋭賞・文化庁芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞。

茂山忠三郎

昭和57年京都に生まれる。能楽師大蔵流狂言方。茂山忠三郎家、四世忠三郎の長男。父に師事。四歳にて「伊呂波」のシテで初舞台を踏む。その後「釣狐」、「三番三」、「花子」など秘曲、重曲を異例の若さで上演。海外への芸術文化交流にも力を入れアメリカやヨーロッパなど海外公演も多数。平成17年京都造形芸術大学（現・京都芸術大学）卒業。平成21年度文化庁文化交流使。能楽協会京都支部所属、京都能楽会会員。京都芸術大学非常勤講師。《忠三郎狂言会》代表、猿楽會主宰。平成29年、五世茂山忠三郎襲名。平成25年文化庁芸術祭賞新人賞、平成28年京都府文化賞奨励賞、平成30年度京都市芸術新人賞受賞。

【演目】

京舞 上方唄 『浦島』

出演：井上安寿子

狂言 『神鳴』

出演：神鳴／茂山忠三郎

医者／山口耕道

後見／山本善之

京舞・狂言合作 新作 『たぬき』

作：茂山忠三郎

作詞：井上安寿子

出演：茂山忠三郎

井上安寿子

山本善之

う趣旨のもと企画したものです。

楽しんでいただくための仕掛けとしてテーマを設定していますが、第二回目は「メルヘン」。童話やおとぎ話だけがメルヘンの世界ではありません。「メルヘン」を通して伝統芸能が伝えてきた日本人の伝統的価値観を発見することができるでしょう。想像をめぐらせながら、芸能の世界が表現する「メルヘン」からみえてくる京舞と狂言の世界をお楽しみください。

今回は伝統芸能の魅力を知っていただくための挑戦をします。京舞と狂言による創作作品、『たぬき』を新作としてお届けします。かたや「舞」、かたや「せりふ」と表現方法の異なる二つの芸能が、一つの作品のなかでどのように融合しながらそれぞれの魅力を発揮するか。伝統芸能の可能性を求めて、「実験と冒険」を掲げる「大学の劇場」だからこその上演となります。乞うご期待。

田口章子（京都芸術大学教授）

【お知らせ】

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度の公演は中止することを決定しました。楽しみにして下さった皆様には心よりお詫び申し上げます。

来年2021年7月に延期上演の予定です。

企画について

春秋座で伝統芸能を楽しんでいたための公演「京舞と狂言」。伝統芸能の世界で活躍する二人の本学卒業生、井上安寿子さん（京舞次期後継者）と茂山忠三郎さん（茂山忠三郎家当主）による舞台です。比較することでそれぞれの芸能が持つ魅力、おもしろさを知ってほしいとい

登紀子さんとの出会い

私が初めて加藤登紀子さんの声と出会ったのは、フランス語の美しい歌でした。

スタジオジブリ『紅の豚』の中で、主人公ポルコ・ロッソが静かに愛し続けているマダム・ジーナ。その彼女を演じ、主題歌『さくらんぼの実る頃』を歌っていたのが登紀子さん、その人だったのです。

映画の中のジーナのショー。ピアノの音と共に、低く響いてくる美しい歌声。ポルコと客達がうっとり聞き惚れている。子供だった私もなんて素敵なんだろうと夢中になってしまったのです。

それから・・・私が18歳になった時、映画『ゲド戦記』でデビューをさせて頂く事となりました。取材などで加藤登紀子さんの歌が大好きですと話したりしていたお陰か、TVやコンサートなどでお会いする機会が幾度かあり、生で登紀子さんのお声を初めて聞いた時、その力強さと優しさが私の耳を、心を、あたたかくギュッと抱きしめてくれた様に感じたのを覚えています。

そして、デビュー10周年の記念アルバムの制作が始まった頃に、登紀子さんに曲をお願い出来る事になったのです。嬉しくて嬉しくて、同時にとても緊張しました。『紅の豚』のエンディング曲『時には昔の話を』をカバーさせて頂いた音源を聞いて頂いたり、色々質問をして頂いたりして、出来上がった2曲を送っていただきました。歌詞を紡ぐ言葉達は、私の歌いたい気持ちをぐんぐん高めてくれる本当に素敵な魔法でした。そして、私自身を少しずつ大人の女性に導いてくださる歌だと思いました。

登紀子さんに、どちらがいい？と言われて、私はもちろん2曲とも！とワガママを言わせて貰いました。2曲とも素敵過ぎて大好きになってしまったのです。

お会いする度に、楽しいお話しとカッコいいお声と優しいお人柄に夢中になって、時間があっと言う前に過ぎていってしまいます。

是非、目の前で、そんな魅力的な登紀子さんの歌声を聞いて頂ければ、

素敵な時間を過ごせるはずですよ！さあ、登紀子さんのコンサートへ！行ってらっしゃい！



手島葵

歌手

2006年、映画「ゲド戦記」の挿入歌「テルーの唄」でデビュー。2011年には「コクリコ坂から」の主題歌も担当。デビュー10周年を迎えた2016年には、『明日への手紙』がTVドラマ主題歌に起用され大きな話題となる。その類稀なる歌声は、数々の主題歌やCMソングに求められ続けており、近年は海外公演も開催するなど、ライブ活動にも力を入れている。

CLIP

舞台芸術研究センター周辺で起こる、ホットな話題をお伝えします。

主任研究員・渡邊守章さん 令和元年度文化庁長官表彰受彰

舞台芸術研究センターの前所長で、これまで上演・実験・研究会など当センターの研究・教育系プログラム企画を多数手がけてきた演出家の渡邊守章さんが、自身の永年にわたる芸術文化の振興への功績から、令和元年度文化庁長官表彰を受彰されました。2020年度も自身が企画・監修をつとめる「春秋座—能と狂言」(能『砧』他)の開催を2021年2月6日(土)に予定しております。

木ノ下裕一さん 京都府文化奨励賞受賞

木ノ下歌舞伎主宰の木ノ下裕一さんが、第38回(令和元年度)京都府文化奨励賞を受賞されました。昨年12月に春秋座で上演された木ノ下歌舞伎『娘道成寺』では、同作品として初めて長唄・囃子生演奏ヴァージョンを製作。木ノ下さんは本作で監修を務めるほか、関連企画「木ノ下歌舞伎オープンラボ」において、ゲストの批評家・実演家の皆さんと「道成寺」をテーマに、現代と古典をつなげる視点からお話する実験的・実践的レクチャーを開催しました。なお、オープンラボ初回(ゲスト:渡辺保さん)分は、3月発行「舞台芸術」23号に収録されています。

マームとジプシーを音楽のように観ていた

35年ほど前のこと。劇団夢の遊眠社の『小指の思い出』という作品をテレビの中継で観た。心待ちにしていたその放送を食い入るように観ながら、同時に僕はカセットテープレコーダーを回していた。録音したのだ。自分の劇団を旗揚げしたばかりでお金がなくて、ビデオデッキは持っていなかった。録音した演劇作品の「音」だけを、何度繰り返して聞いたことだろう。ウォークマン(これは持っていた)で歩きながら聞いた。ひとり暮らしのアパートでボリュームをあげて聞いた。友だちの部屋におしかけて無理やり聞かせたこともある。「音」だけで心地よかった。一度観た舞台が頭の中にはあつと広がる。世界へと一気に引き込まれる。ついに覚えてしまったセリフを、聞きながら一緒につぶやいたりもしていた。曲に合わせて歌うように。そう、音楽みたいに聴いていた。

その後ずっと、演劇を音だけで聞くことは一度もしていない。ふつうに劇場で、年に何本かの舞台を観ている。「カセットテープと演劇」と

いう組み合わせ自体をすっかり忘れていたのだけれど……2018年の12月、マームとジプシーの舞台をはじめて観ながら僕は、客席で急激に、上に述べたことをまとめて思い出した。

「ああ、この高揚感。録音した音だけでもいいから後で聞きたい」

総合芸術として堪能したのはもちろんだが、とりわけ耳が受け止めたものが、なぜか心を強くかきまぜた。同じセリフを繰り返すリフレインの効果だったのかもしれない。なめらかな動きやリズムミカルな展開のせいだったのかもしれない。この演劇を音楽みたいに聴きたいと思った。あの頃のように。要するに僕は、マームとジプシーに一目惚れをしていた。ここまで中毒になったのは、夢の遊眠社以来のことだ。

2020年の夏に『cocoon』という作品が再演される。僕はこの作品を観たことがない。名作の噂を耳にしている。初演から7年が経ち、新演出での上演なのだとか。ときめく。期待で胸が膨らむ。



山下哲

株式会社ほぼ日 企画・編集者

糸井重里主宰のウェブサイト「ほぼ日刊イトイ新聞」、企画・編集者。同サイトで運営する「ほぼ日曜日」(渋谷 PARCO)等のリアルスペースを担当。マームとジプシーの公演も計画中。大学時代から2007年まで、演劇活動を続けた。

BOOK

『舞台芸術』23号発売中!

舞台芸術 VOL.23 Spring 2020

ドラマトゥルクの未来

京都芸術劇場で行われる舞台芸術研究センター主催の実験公演や研究活動を報告する場であり、古今東西のパフォーミング・アーツを今日的な視点で切り取り、21世紀における舞台芸術の新たな可能性について考察する舞台芸術研究センター機関誌の最新号が発売となりました。今号のテーマは、このところ、日本の舞台芸術でも定着しつつある「ドラマトゥルク」。時代の変化の下、「創造のプロセス」がさまざまな課題に直面する今、「ドラマトゥルク」には、どのような役割があり、どのような可能性を未来に秘めているのか。昨年、本学舞台芸術研究センターで開催されたシンポジウムでの議論を中心に考察します。

今号の概要—

プロセスを開くために～

日本におけるドラマトゥルクの視点から

長島 確

ギャップ・フィラーとしてのドラマトゥルク

～国際共同製作におけるドラマトゥルクの視点から

滝口 健

ディスカッション「創造のプロセス」の未来

パネリスト：長島 確、滝口 健、長澤 慶太、森山 直人

『はじめましてこんにちは、今私は誰ですか?』の

創作プロセス

倉田 翠×倉谷 誠×丁 春 燁

豊島 重之 追悼—モレキュラーシアターの軌跡

猿翁アーカイブレクチャー

石川 耕士、横内 謙介

対談 木ノ下歌舞伎オープンラボ第三期

～「道成寺」編

渡辺 保×木ノ下 裕一

他、多数収録



発行：KADOKAWA
B5判 1500円(税別)
企画・編集/お問合せ：
京都芸術大学
舞台芸術研究センター

6 6日(土) 14:00

春秋座

桂 米團治 春秋座特別公演

1部 落語会

桂米團治

桂米輝

2部 おべらくご

『ドン・ジョヴァンニ』

モーツァルト作曲

桂米團治

四方典子(ソプラノ)

西村薫(メゾソプラノ)

清水徹太郎(テナー)

演奏：京都フィルハーモニー室内合奏団



撮影：濱屋純一

【公演延期】新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度の公演は中止することを決定しました。楽しみにして下さった皆様には心よりお詫び申し上げます。

来年2021年度に延期上演の予定です。

6 20日(土) 15:30 公演延期

春秋座

加藤登紀子

55th Anniversary CONCERT 2020

「未来への詩(うた)」

加藤登紀子歌手生活55年の記念コンサート。オリジナル曲、過去から受け継いだ歌、遠い国から運ばれた歌を集めて、選び抜いたプログラムをお届けします。新曲「未来への詩」もお楽しみに!



撮影：森日出夫

【公演延期】新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度の公演は中止することを決定しました。楽しみにして下さった皆様には心よりお詫び申し上げます。

来年2021年度に延期上演の予定です。

6 13日(土)、14日(日) 15:00

春秋座 特設客席

川村毅作・演出『4』

特集▶P.02

【公演延期】新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度の公演は中止することを決定しました。楽しみにして下さった皆様には心よりお詫び申し上げます。

来年2021年8月に延期上演の予定です。

7 11日(土)、12日(日) 14:00

春秋座

春秋座マイ・ファースト・オペラ vol.1 特集▶P.T・2

W.A.モーツァルト作曲『フィガロの結婚』全4幕

イタリア語上演/日本語字幕付

【公演延期】新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度の公演は中止することを決定しました。楽しみにして下さった皆様には心よりお詫び申し上げます。

来年2021年に延期上演の予定です。

チケットお問合せ先

京都芸術劇場チケットセンター

tel.075-791-8240 営業：平日10:00-17:00・公演開催日

営業時間を変更する場合があります。詳しくは劇場HPでご確認ください。

京都芸術大学 舞台芸術研究センター

京都芸術劇場 春秋座・studio21

606-8271 京都市左京区北白川瓜生山 2-116

tel.075-791-9207 fax.075-791-9438

E-mail. k-pac@kua.kyoto-art.ac.jp

http://www.k-pac.org

京都芸術劇場

検索



京都芸術劇場友の会 会員募集中! 詳しくは劇場HPへ

T-C 京都芸術劇場チケットセンター OTS 劇場オンラインチケットストア

E+ イープラスー <https://eplus.jp>

ぴあ チケットぴあー <https://t.pia.jp> tel.0570-02-9999

生協 京都、滋賀各大学生協プレイガイド

KBS 京都事業部 tel.075-431-8300 (電話のみ 平日10-17時)

*記載のないものについての開場は開演30分前

*特に表記のない場合、前売と当日は同じ料金

*ユースは25歳以下対象(一部公演を除く)

*学生・ユースは要身分証明書提示、チケットは京都芸術劇場チケットセンター、劇場オンラインチケットストア、大学生協のみ取扱い

料金：お子様1名に付き1500円 対象：生後6ヶ月以上7歳未満

予約・お問合せ：京都芸術大学舞台芸術研究センター

Tel:075-791-9207 (平日10-17時)

お知らせ——本学のこれまでの歩みと、現状の学問領域、大学30周年を契機として策定した将来構想「グランドデザイン2030」を踏まえて、その教育内容や活動に相応しい名称として、2020年4月1日に、学校法人瓜生山学園「京都造形芸術大学」から名称を変更いたしました。

7 19日(日) 14:00

春秋座

京舞と狂言 vol.2

特集▶P.T-6

【公演延期】 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度の公演は中止することを決定しました。楽しみにして下さった皆様には心よりお詫び申し上げます。
来年2021年7月に延期上演の予定です。

8 22日(土) 18:30、23日(日) 13:00 春秋座 特設客席

マームとジプシー 『cocoon』

沖縄戦に動員された少女たちに想を得て創作した今日マチ子のマンガを原作に、演劇作家の藤田貴大が舞台化し、2013年に初演、2015年に再演されたマームとジプシーの代表作の一つ。待望の京都公演です。

原作：今日マチ子 (秋田書店)

作・演出：藤田貴大

音楽：原田郁子

出演：青柳いづみ、大田優希、荻原綾、菊池明明

小石川桃子、小泉まき、佐藤桃子、猿渡遥

須藤日奈子、高田静流、中島有紀乃、仲宗根葵

中村夏子、成田亜佑美

石井亮介、内田健司、尾野島慎太郎

【整理番号付自由席・一般発売7月1日(水)、
友の会先行発売6月30日(火) 10:00】カッコ内は当日料金
一般 3500円(4000円) 友の会 3000円(3500円)
学生&ユース 2500円(3000円) 18歳以下 1500円
※推奨年齢7歳以上

託児サービス 申込期間 6月30日(火)～8月17日(月) 17:00

T-C OTS e+ ひあ 生協

2020年度 公開連続講座 「日本芸能史」～型と創造 [後期]

日本の伝統芸能・芸道はすべて型を持つ。型は、芸能・芸道の演技・演出の細部にまで行き渡る定められた手順である。型を持つのは、祭りを母胎として誕生したからである。型は、《カミ》つまり普遍的価値、宇宙の生命へ通じる通路である。部分を表現する型に《カミ》が宿る。そこには、部分にそれぞれの神がやどっているという日本人の多神教の信仰が生きている。

型は創造の場である。型を守るとは、そこに降臨する新しい《カミ》即ち新しい価値と生命を生む覚悟を持って努力することである。「一期一会」(千利休)、「文台引き下ろせば反故」(芭蕉)などの先人のことばにはその必死の覚悟が表現されている。先人の努力の結晶が型である。型には人類の可能性がある。

総論	シャーマニズム	諏訪春雄
陶芸		沈壽官
常磐津		常磐津都瓦蔵・常磐津都史
琉球芸能		嘉数道彦
狂言		茂山忠三郎
遠近法		諏訪春雄
京舞		井上八千代
能		片山九郎右衛門
日本舞踊		坂東温子
落語		桂吉坊
茶道		千宗左
木ノ下歌舞伎		木ノ下裕一
邦楽囃子		藤舎呂船
淡路人形浄瑠璃		淡路人形座

【お知らせ】 新型コロナウイルス感染症の拡散防止のため、2020年度公開連続講座「日本芸能史」前期・全講座を休講といたします。楽しみにして下さった皆様には心よりお詫び申し上げます。なお、2020年度後期は予定通り開催予定です。

毎 回：月曜日 16:30～17:50

後 期(全14回)：2020年9月28日～2021年1月18日

受講料：1万5千円

会 場：京都芸術劇場春秋座 (京都芸術大学内)

【お問合せ・資料請求先】

京都芸術劇場チケットセンター tel.075-791-8240

アクセス

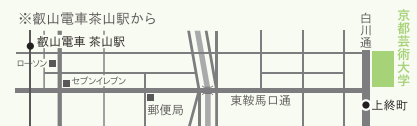
- JR・近鉄「京都」駅、京阪「三条」駅、阪急「京都河原町」駅から
京都市バス5系統「岩倉」行きに乗車、「上終町京都造形芸大前」下車
(「京都」駅から約50分、「三条」・「京都河原町」駅から約30分)
- 京都市営地下鉄「丸太町」・「北大路」駅(北大路バスターミナル)から
京都市バス204系統循環「高野・銀閣寺」行きに乗車、
「上終町京都造形芸大前」下車(約15分)
- 京阪電車「出町柳」駅から叡山電車に乗り換え、「茶山」駅下車、徒歩約10分
- タクシーご利用の場合、「京都」駅から約30分。地下鉄「今出川」駅から約15分
(「京都」～「今出川」は地下鉄で約10分)

※所要時間はあくまで参考としての標準時間です。天候や交通事情により変わりますのでご注意ください。
※駐車場はございませんので、お車・バイクでのご来場はご遠慮ください。

発行日—2020年5月10日

発行/編集—京都芸術大学 舞台芸術研究センター
デザイン…吉羽 一之 (Simple Hope Design Room)

京都芸術劇場ニュースレター vol.46



京都
芸術
劇場

ニ
ユ
ー
ス
レ
タ
ー

shunjuza
studio21
Newsletter

特集

川村毅作・演出『4』

京舞と狂言

春秋座マイ・ファースト・オペラ vol.1

『マモーツァルト作曲

『フィガロの結婚』全4幕

2P
5P

6P
7P

T-2P
T-5P

vol.
46
2020.5



Le nozze di Figaro



春秋座マイ・ファースト・オペラ vol. 1
W・A・モーツァルト作曲

『ファイガロの結婚』全4幕

イタリア語上演 / 日本語字幕付

11年目を迎える春秋座オペラ。今年から「あなたにとって初めてのオペラ、あなたが一番お気に入りのオペラ」をテーマに新シリーズが始まります。第一弾は世界中で愛されているモーツァルトの傑作を上演。一度はオペラを観てみたいけれど高尚そう、一部の愛好家だけが楽しむものでないか堅苦しそうで、外国語で歌うから意味が分からなそう…などと思っている方。意外にオペラは楽しくて身近なエンターテインメントなんです。そこで今回、オペラデビューする方に向けて「オペラって何？」を優しく解説します。オペラに詳しい方もぜひ、お近くの方を魅惑の世界へお誘いください。

監修・井村誠貴(公演監督・指揮)

2020年7月11日(土)、12日(日) 14:00

会場：春秋座

公演監督・指揮：井村誠貴 演出：唐谷裕子

出演…

アルマヴィーヴァ伯爵：仲田尊一 / 萩原寛明 伯爵夫人：山本千尋 / 尾崎比佐子
 フィガロ：畑奨 / 西尾岳史 スザンナ：古瀬まき / 原田菜奈
 ケルビーノ：味岡真紀子 / 藤本裕貴 マルチェリーナ：黒崎朋子 / 中子貴弥子
 バルトロ：東平間 / 池田真己 バジリオ：藤田大輔 / 山本欽也
 ドン・クルツィオ：山本欽也 / 藤田大輔 アントニオ：山川大樹 (両日)
 パルバリーナ：田口絵理 / 福田暁子 花娘：梅千晶 / 大上りあ、土師伊久美 (両日)
 管弦楽：ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団、チェンバロ：鎌田史子、
 合唱：春秋座オペラ合唱団

●公演情報の詳細はスケジュール一覧(P.8)をご覧ください。

【お知らせ】新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今年度の公演は中止することを決定しました。楽しみにして下さった皆様には心よりお詫び申し上げます。来年2021年に延期上演の予定です。

マイ・ファースト・オペラを楽しもう！

オペラはエンターテインメント

オペラは「音楽―歌手、合唱団、オーケストラ」「演劇」「建築―舞台美術」「美術―小道具、衣裳」「舞踏―ワルツ（バレエが入ること）」など多彩な芸術で構成される総合芸術でありエンター

テインメント。

ですから見どころが満載です。まずは美術や建築がお好きな方は舞台美術から、衣裳が好きな方は出演者が身につけている衣裳や飾り物など興味ある分野から注目していただくのもおすすめです。

また、春秋座は歌舞伎と

オペラが理想的に上演できるように歌舞伎俳優三代目市川猿之助（現二代目市川猿翁・春秋座初代芸術監督）が監修してできた劇場。歌舞伎の機構を駆使した《ここで見られない》上演も魅力の一つです。

* 美しい旋律で進行するお芝居

オペラは、ほぼ全部が「歌と曲で構成されたお芝居」。そう、オペラは物語なのです。ただ演劇とは違い、登場人物のセリフや感情を歌で表現し物語をつないでい

きます。ですから台本（楽譜）もあり、恋愛や喜劇、悲劇など色々なお話があります。

* オペラはミュージカルの祖先

オペラは16世紀末にイタリアの宮廷娯楽として生まれ、ヨーロッパ各地で大流行しました（同じ頃、日本では歌舞伎が誕生）。

19世紀半ばにはパリやウィーンで庶民向けの歌とダンスからなる「オペレッタ（喜歌劇）」やイギリスの「サヴォイ・オペラ（イギリスのオペラ）」が誕生。それがアメリカに渡るとジャズと結びつき、大衆芸能として洗練され「ミュージカル」となりました。

* 台本は楽譜で

先ほどオペラは「お芝居」といいましたが、音楽でお話が行進していくので台本は「楽譜」で書かれています。そのためタイトルには作曲者の名前もクレジットされます。有名な作曲家にモーツァルト、ワーグナー、ヴェルディ、プッチーニなどがあります。

* 生歌の魅力

オペラ鑑賞の魅力の一つが身体全部

を使って奏でる歌声。マイクは使わず、歌手たちの磨き上げたテクニックにより劇場を響かせる生声を発する事によって客席に声を届けます。

女性の高音域を担当するのは「ソプラノ」、中音域が「メゾソプラノ」、低音域が「アルト」。男性の高音域は「テノール」、中音域が「バリトン」、低音域が「バス」と呼ばれます。それぞれのソリストによる独唱は「アリア」と呼ばれ、有名なものに『蝶々夫人』の〈ある晴れた日に〉や『フィガロの結婚』の〈恋とはどんなものかしら〉などがあります。

* オークストラの聴きどころ

オーケストラは舞台と客席の間にあるボックスで演奏されます。指揮者が登場し、客席に向かって挨拶をすると序曲・前奏曲がスタート。「いよいよオペラが始まるぞ！どんな人間模様が描かれているのだろうか？」などと気分が高まってきます。

オーケストラは単なる伴奏ではなく場面を伝えたり歌手の表現を後押ししたり、歌手と一体となってストーリーを展開していくのです。そのようなところにも注目すると楽しいですよ。



2017年上演「春秋座オペラ『魔笛』」
舞台美術：柴田隆弘 模型製作：大谷菜々

ストーリーを知って、
観劇をより面白く

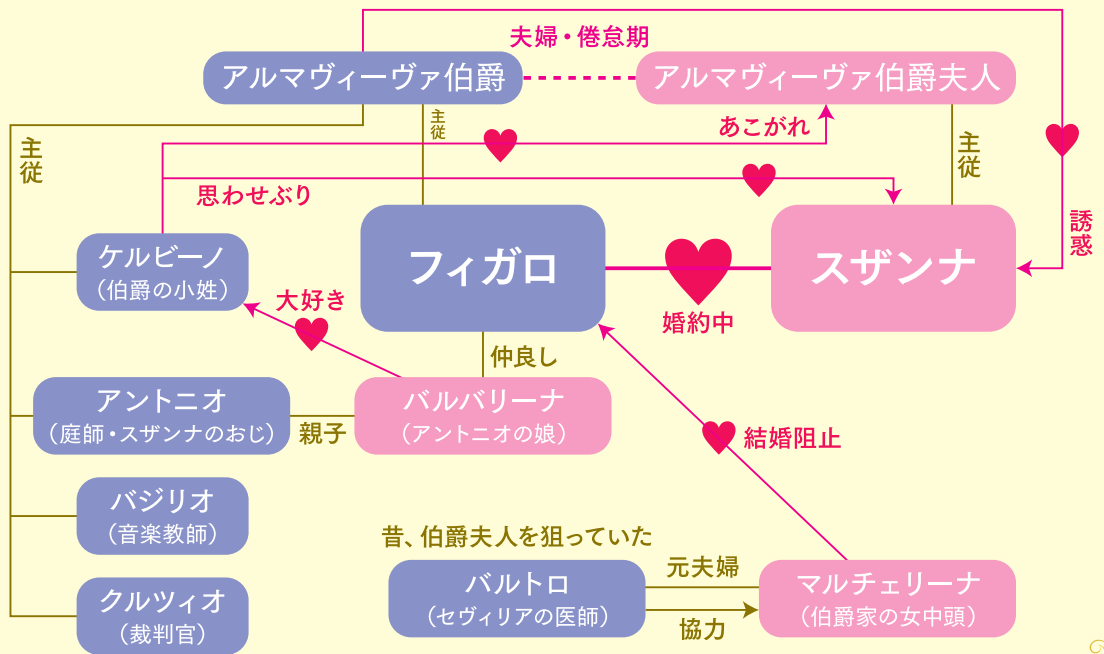
『フィガロの結婚』あらすじ

フランスの劇作家ボーマルシェの喜劇『セヴィリアの理髪師』の続編で、モーツァルトの代表作でもあります。舞台は18世紀半ばのスペイン、セヴィリア。元理髪師のフィガロはアルマヴィーヴァ伯爵と伯爵夫人の仲を取り持ったことで伯爵家の従者になり、伯爵夫人の小間使いスザンナと恋仲になります。

物語はこの2人の結婚式当日の朝からスタートします。実はスザンナをものにしたかと思っていた浮気者の伯爵が自ら廃止した初夜権（統治する地域の新婚夫婦の初夜に為政者が新婦と初夜を共にする権利）の復活を画策。これを知ったフィガロとスザンナ、伯爵夫人が協力して伯爵をこらしめるというコメディです。

他にも美少年ケルビーノが伯爵夫人に恋心を持ったり、年増の女中頭マルチェリーナがフィガロを狙って彼らの結婚を阻止しようとしていたりどタバタエピソードが繰り広げられます。

『フィガロの結婚』主な登場人物



圧巻のアンサンブル

Point ①

劇中で幾度も六重唱や七重唱のアンサンブルが繰り広げられます。特にフィナーレのアンサンブルは圧巻。

軽快な序曲

Point ③

オペラに詳しくなくても「どこかで聞いたことがある」という方も多いのでは!軽快で魅力的な旋律がワクワクさせてくれます。

ここが聴きどころ



Point ②

伯爵夫人の3つの見せ場

夫の愛が遠のいたことを嘆く〈愛の神よ、慰めをもたらせたまえ〉。愛を取り戻そうとする試みを前にした不安を訴える〈よき時代はどこへ行ってしまったの〉。最後、許しを請う夫を前に歌う〈私は優しいから許して差し上げますわ〉。

カフェ・ヴェルディのオーナーに聴く、オペラの魅力

京都芸術大学 1階にあるコーヒエの美味しいカフェ・ヴェルディのオーナー・続木義也さんは大のオペラ好き。オペラは高尚なストーリーが多いと思われがちですが実は違う!?そんなストーリーの魅力を伺いました。

オペラ好きと言うと「崇高な趣味」と思われることがある。しかしその物語の内容はというと、美しい歌手に横恋慕した警視總監が彼女の恋人を捕ら

えて脅し、己の愛欲を満たそうとするが操を守ろうとする彼女に殺される話や、息子の奥さんに言い寄るとんでもない父親の話という、夕刊紙の三面記事も裸足で逃げ出しそうな物語から、愛する女性を振り向かせたい男がペテン師から惚れ薬と騙されて安ワインを売りつけられるが、インチキ薬の効用ではなく一途な想いを意中の女性に認められドタバタの未結ばれる。といっ

た、新喜劇の台本じみたストーリーなど、人間の本能的好奇心をくすぐる男と女の喜劇・悲劇が多い。中でも『フィガロの結婚』は愛憎渦巻く男と女のラブゲームを芸術の域に高めた、モーツァルトの代表作。素晴らしい声のヴィルトウオーゾたちが歌い上げ、マエストロのタクトにオーケストラが軽快かつ荘厳に応えるフィガロを心解き放って楽しみましょう！

ファーストオペラ Q&A

Q どんな服装で行ったらいいのでしょうか。

A 春秋座オペラは開かれたオペラなので普段着でもOK。でも、せっかくなので少しだけドレスアップをして気分を上げるのもおすすめです。

Q 外国語で歌われますが、言葉は分かりませんか。

A 春秋座オペラでは字幕が付くので安心です。

Q ストーリーは下調べしておいた方がいいですか。

A 字幕があるので話は分かりますが、さらっとストーリーを頭に入れてたり登場人物について知っておくと、より物語の世界に入り込めます。

Q 拍手のタイミングはあるのでしょうか。

A 初心者なら、まずは他のお客様に合わせてのがおすすめ。素晴らしい!! と思ったらぜひ大きな拍手を。

オペラ鑑賞の後にいかが？

カフェ・ヴェルディで『フィガロの結婚』にちなんだ特別ディナー



セヴィリア地方の名物料理による前菜プレート、鹿児島産令和ポークのグリル、ひよこ豆のほうれん草ソテー添え(セヴィリアの副菜として有名)、ガスパチョ、カフェと小さなドルチェ 3500円予定(税込)

予約方法: 次年度延期上演時にも実施予定です。お楽しみに。



ヴェルディ 京都芸術大学店 京都芸術大学 瓜生館 1階 tel.075-746-4310

平日 8:30~18:30(LO)、日・祝 ~17:30(LO) 火曜定休

コンサート当日は、予約のみ特別ディナー営業。